

おいしさと健康

Glico

第104期

中間(第2四半期)  
報告書

[平成20年4月1日▶平成20年9月30日]



江崎グリコ株式会社



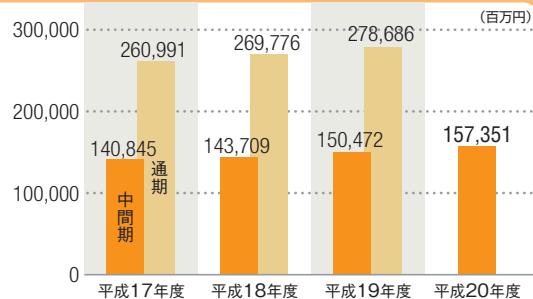
## Glicoの理念 おいしさと健康

おいしさの感動を、健康の歓びを、  
生命の輝きを

Glicoは、ハート・ヘルス・ライフのフィールドで  
いきいきとした生活づくりに貢献します。

## 財務ハイライト | 連結

### 売上高



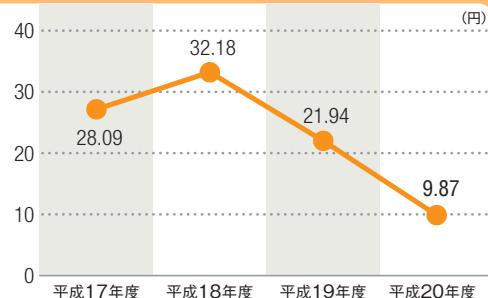
### 経常利益



### 当期(中間)純利益



### 1株当たり中間純利益



## C O N T E N T S

株主の皆様へ	2
部門別の概況(連結)	3
連結決算の状況	5
2009年3月期計画と見込み	7
トピックス 新製品のご紹介	9
ニュース	13
会社概要	15
株式の状況	16
株主メモ	17
株券電子化前後の各種手続きについて	18

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。当社の第104期中間報告書をお届けするにあたり、ひとことごあいさつ申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）におけるわが国経済は、原油価格の乱高下、農産物価格の高騰、米国サブプライムローン問題に端を発する世界的な金融市場の混乱等の影響を受けて企業収益が圧迫される中、景気減速傾向がより鮮明になってまいりました。

このような経済状況のもとで、当社グループは「グリコグループ行動規範」に基づき、信頼される企業であり続けることを事業展開の基本としながら、種々の製品対策、販売対策を積極的に展開いたしました。

その結果、売上面では、菓子部門、冷菓部門、牛乳・乳製品部門、食品部門及び畜産加工品部門の全ての部門において増収となったため、当第2四半期連結累計期間の売上高は157,351百万円となり、前年同期（150,472百万円）に比べ4.6%の増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率はほぼ横ばいでしたが、増収による増益に加え、広告費が減少いたしました。その結果、営業利益は5,879百万円と前年同期（4,723百万円）に比べ1,155百万円の増益となり、経常利益は6,119百万円

取締役社長

北崎勝久



と前年同期（5,592百万円）に比べ526百万円の増益となりました。

また、当第2四半期連結累計期間は投資有価証券売却益等を特別利益に計上し、投資有価証券評価損等を特別損失に計上しました。その結果、四半期純利益は1,264百万円となり、前年同期（2,832百万円）に比べ、1,567百万円の減益となりました。

なお、中間配当金は、当初予定通り1株当たり5円といたしました。

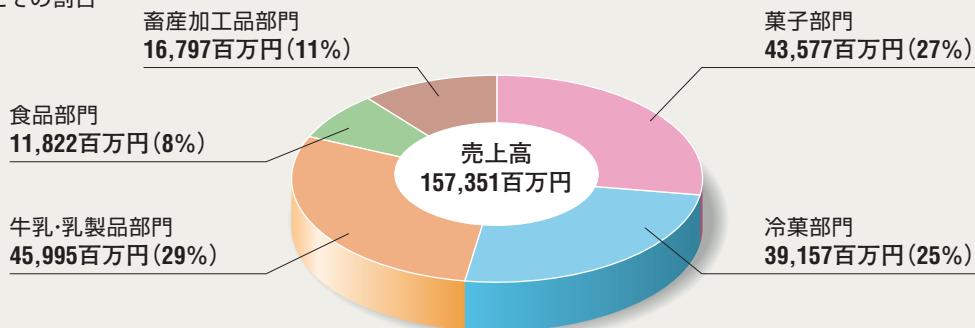
下半期につきましても、今後更なる原材料価格の高騰に加え、金融市場の混乱等による企業業績に与える影響など、当社グループを取り巻く環境はますます激しくなるものと予想されますが、グループ企業全社を挙げて業績向上をはかり、株主の皆様のご期待にこたえる所存でございます。

今後とも、株主の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月

# 部門別の概況 連結

部門別売上高とその割合



## 菓子部門

43,577百万円

前年同期比5.4%の増収



国内では、新製品“チーザ”が好評で、“クラッツ”及び「ビスコグループ」等も伸びましたが、“メンタルバランスチョコレート GABA”、“キスミントガム”及び「カプリコグループ」等が苦戦となりました。また、海外では、タイ、上海の海外子会社が引続き好調に推移しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は43,577百万円となり、前年同期(41,354百万円)に比べ5.4%の増収となりました。

## 冷菓部門

39,157百万円

前年同期比4.6%の増収



新製品“バリッテ”、主力製品“ジャイアントコーン”、“パピコ”等が順調に売上を伸ばしました。一方、“和ごころ”、“アイスの実”等は減販となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は39,157百万円となり、前年同期(37,423百万円)に比べ4.6%の増収となりました。

## 牛乳・ 乳製品部門

45,995百万円

前年同期比1.4%の増収



新製品“ドロリッチ”が好評で、“マイルドカフェオーレ”等の乳飲料も順調でしたが、清涼飲料やヨーグルト及びプリン関係は前年同期を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は45,995百万円となり、前年同期(45,346百万円)に比べ1.4%の増収となりました。

## 食品部門

11,822百万円

前年同期比12.8%の増収



主力の“熟カレー”が好調で大きく売上を伸ばし、クリアシリーズ、スナックスープ等も順調でした。一方“HOT菜中華”、ZEPINシリーズ等は苦戦となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,822百万円となり、前年同期(10,479百万円)に比べ12.8%の増収となりました。

## 畜産加工品 部門

16,797百万円

前年同期比5.9%の増収



主力の“パリッと朝食ウィンナー”等のソーセージ関係が好調で、前年同期を上回り、さらに“A-グル”等の食品原料も順調で、前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,797百万円となり、前年同期(15,867百万円)に比べ5.9%の増収となりました。

# 連結決算の状況

## 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)
<b>[資産の部]</b>			<b>[負債の部]</b>	
<b>I 流動資産</b>	71,593	87,839	<b>I 流動負債</b>	62,684
現金及び預金	9,380	11,938	支払手形及び買掛金	29,595
受取手形及び売掛金	29,546	34,077	短期借入金	8,322
有価証券	7,349	15,466	未払費用	18,636
商品及び製品	7,658	8,057	未払法人税等	595
仕掛品	997	803	役員賞与引当金	91
原材料及び貯蔵品	10,474	11,725	販売促進引当金	—
その他	6,346	5,887	その他	5,442
貸倒引当金	△161	△117	<b>II 固定負債</b>	17,478
<b>II 固定資産</b>	131,084	129,740	長期借入金	6
<b>(有形固定資産)</b>	66,596	67,507	退職給付引当金	13,287
建物及び構築物(純額)	21,444	20,903	役員退職慰労引当金	470
機械装置及び運搬具(純額)	24,691	25,563	その他	3,714
土地	14,396	14,282	<b>負債合計</b>	<b>80,162</b>
その他(純額)	6,064	6,758	<b>[純資産の部]</b>	
<b>(無形固定資産)</b>	1,050	1,278	<b>I 株主資本</b>	120,633
ソフトウェア	748	485	資本金	7,773
その他	302	793	資本剰余金	7,421
<b>(投資その他の資産)</b>	63,436	60,953	利益剰余金	115,932
投資有価証券	48,794	47,827	自己株式	△10,493
その他	15,674	14,220	<b>II 評価・換算差額等</b>	△76
貸倒引当金	△1,032	△1,094	その他有価証券評価差額金	684
<b>資産合計</b>	<b>202,677</b>	<b>217,580</b>	繰延ヘッジ損益	△803
			為替換算調整勘定	43
			<b>III 少数株主持分</b>	1,957
			<b>純資産合計</b>	<b>122,514</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>202,677</b>
				<b>217,580</b>

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (19.4.1～19.9.30)	当第2四半期 連結累計期間 (20.4.1～20.9.30)
I 売上高	150,472	157,351
II 売上原価	87,884	91,786
売上総利益	<b>62,587</b>	<b>65,565</b>
III 販売費及び一般管理費	57,864	59,686
営業利益	<b>4,723</b>	<b>5,879</b>
IV 営業外収益	1,548	1,217
(受取利息及び配当金)	633	665
(その他)	914	551
V 営業外費用	678	976
(支払利息)	89	177
(その他)	589	799
経常利益	<b>5,592</b>	<b>6,119</b>
VI 特別利益	311	358
VII 特別損失	342	2,440
税金等調整前中間純利益	<b>5,561</b>	<b>4,038</b>
法人税、住民税及び事業税	2,238	2,367
法人税等調整額	275	153
少数株主利益	215	252
中間純利益	<b>2,832</b>	<b>1,264</b>

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結累計期間 (20.4.1～20.9.30)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	4,038
減価償却費	4,841
減損損失	69
販売促進引当金の増減額(△は減少)	1,296
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△608
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△127
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△91
貸倒引当金の増減額(△は減少)	19
受取利息及び受取配当金	△665
支払利息	177
売上債権の増減額(△は増加)	△4,744
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,545
仕入債務の増減額(△は減少)	6,229
その他	7,380
小計	16,268
法人税等の支払額	△797
営業活動によるキャッシュ・フロー	<b>15,471</b>
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△251
定期預金の払戻による収入	250
有価証券の売却による収入	301
投資有価証券の取得による支出	△609
投資有価証券の売却による収入	1,280
有形固定資産の取得による支出	△5,653
有形固定資産の売却による収入	339
貸付けによる支出	△267
貸付金の回収による収入	363
利息及び配当金の受取額	682
その他	△529
投資活動によるキャッシュ・フロー	<b>△4,092</b>
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,651
利息及び配当金の支払額	△1,486
少数株主への配当金の支払額	△17
自己株式の取得による支出	△1,433
その他	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	<b>△286</b>
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	<b>△113</b>
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<b>10,978</b>
VI 現金及び現金同等物の期首残高	<b>15,803</b>
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	<b>26,781</b>

# 2009年3月期 計画と見込み

## 2009年3月期の重点取り組み

当社グループは、2009年3月期に二つの重点取り組みを策定し、業績向上を目指しています。重点取り組みの一点目は、将来の利益拡大につなげるための売上拡大です。菓子、牛乳・乳製品を中心に大型新製品を発売する一方、海外事業においては製品ラインアップの拡充やエリア拡大を実施する等、積極的なマーケティングを継続し、売上の拡大を図っています。次に重点取り組みの二点目として、現在の利益確保に向けてコスト吸収を推進しています。以上により、2009年3月期の売上高は288,000百万円と、前連結会計年度に比べ3.3%の増収、また営業利益は5,200百万円で前連結会計年度に比べ21.9%の増益となる計画でした。2008年11月現在、売上高は計画を2,000百万円上回る290,000百万円、営業利益は計画を100百万円上回る5,300百万円を見込んでいます。

## 新規需要創造型の大型新製品の投入・育成

将来の利益拡大につなげるため、新規需要創造型の大型新製品を投入・育成に取り組んでいます。関東から近畿エリアに限っていた“チーザ”の販売エリアを北海道・東北地区へ拡大する他、“Walky walky(ウォーキーウォーキー)”、“ボスカ”、“かるじゃが”、“ドロリッチ”等の新製品の販売エリアを拡大します。これら新製品の売上高の合計は、前連結会計年度に比べ8,900百万円の増収となる計画でしたが、2008年11月現在、当初の計画を上回り、前連結会計年度に比べて16,200百万円の増収となる見込みです。

## 海外事業の推進

タイ事業において、タイ国内で“ポッキー”や“プリッツ”の系列品を発売して製品ラインアップを拡充するとともに、消費者キャンペーンで販売促進を強化し、売上拡大を図っています。またマレーシアやシンガポール等既存輸出国に対する取り扱いアイテムの拡大に加え、オーストラリア等への輸出拡大にも取り組んでいます。

一方中国事業においては、“ポッキー”の系列品計5品を発売する等、製品投入を推進しています。営業面では、北京、杭州、南京等の重点都市に人員を増やし、広告や販促費用を投入する等市場の深耕を継続しています。さらに上海第3工場を一部稼働させることで生産能力も増強しています。またタイ、中国、いずれも一部製品の値上げを実施して原材料価格高騰にも対応しています。いずれの取り組みも順調に推移し、2008年12月期はタイ、中国ともに増収増益となる見込みです。

## コストの吸収

食肉原料、小麦粉、乳製品等の高騰が続き、2009年3月期の原材料価格は、前連結会計年度に比べ約7,200百万円上がるという当初の計画をさらに上回り、前連結会計年度に比べ約7,600百万円上がる見込みです。こうしたコストの吸収を目指し、既存主力品を中心に、製品規格変更、使用原料変更等による原価改善に取り組んでいます。コスト吸収の期待効果は、年間6,000百万円となる計画でしたが、2008年11月現在、計画を上回り、年間6,100百万円となる見込みです。

※原材料価格高騰の見込み及び期待効果は、「2009年3月期の計画と同じ製品を同じ数量生産した場合」という条件で試算したものです。



## 2009年3月期の重点取り組み

### ● 将来の利益拡大につなげるための「売上拡大」

#### 大型新製品の投入・育成

- [チーザ] 関東～近畿エリアに加え、11月に北海道・東北へ販売エリアを拡大
- [Walky walky] 9月に販売エリアを全国に拡大
- [ポスカ] 8月に全国で一斉発売
- [かるじゃが] 11月に関東・甲信越・静岡で先行発売
- [ドロリッチ] 12月に全国全チャネルへの拡大を完了

09/3月期見込

+162億円  
08/3月期比

#### 海外事業の推進

##### 【タイ】

- 製品ラインナップの拡充
- 輸出拡大の継続
- 原材料価格高騰への対応

##### 【中国】

- 積極的な製品投入
- 重点都市の市場深耕
- 生産能力の増強
- 原材料価格高騰への対応



08/12月期見込

売上高  
2,514百万円  
営業利益  
331百万円

08/12月期見込

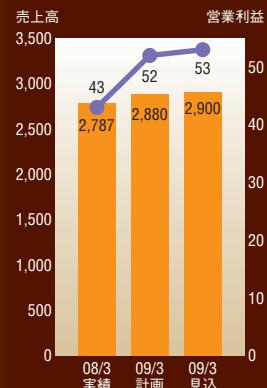
売上高  
597百万円  
営業利益  
22百万円

2009年3月期  
見込

売上高  
2,900億円

営業利益  
53億円

売上高・営業利益推移 (単位:億円)



### ● 現在の利益確保に向けての「コスト吸収」

#### コストの吸収

- 売価変更・内容量変更
- 使用原料変更

期待効果見込

61億円

## 菓子

菓子部門

### “フラットスタイル”という新発想、 歯のためのガム。

[POs-Ca]

〈クリアミント〉〈グリーンノート〉

〈シトラスクール〉〈ライチカモミール〉

携帯性にこだわり、いつでもどこでも食べやすい『POs-Ca』は、ガムがバラバラにならないリクローズチャックが付いた薄型パッケージ。捨て紙を収納できるポケットも便利な機能です。特許成分POs-Caを配合した歯のためのガムに携帯性を付加した新しい「フラットスタイル」を提案し、ガムの食シーンを拡大して市場の活性化を狙います。



### “大人のための本格チョコレート”の 定着をめざして。

[アーモンドプレミオ][マカダミアプレミオ]

[バンホーテン ディアカカオ] 〈クリーミー〉  
〈テイスティココア〉

質を楽しむアーモンドチョコレート『アーモンドプレミオ』と、カカオの華やかな香を楽しむチョコレート『バンホーテン[ディアカカオ]』。この2つのブランドを「オトナグリコ」というコンセプトのもと、大人のための本格的な上質チョコレート商品群として提案し、チョコレートカテゴリーに新たな顧客の定着を図ります。



## しっとりやわらか、 やさしい味わいのモナカアイス。

### 【半熟もなか】

グリコ独自の技術で、冷凍下でもやわらかなカスタードクリームとカスタード風味のバニラアイスを、口どけのよいモナカ皮で包みました。カスタードの味わいとバニラアイスのやさしい風味が、ほっとしたい時にピッタリのモナカアイスです。



## 大粒クッキー&クラッシュド アーモンドが中までぎっしり。

### 【ボンバ】

#### 〈バニラショコラ〉〈カフェショコラ〉

アイスの中心部と、チョコレートをトッピングしたアイスの天面に、大粒のクッキーとクラッシュドアーモンドをたっぷり加えたカップアイス『ボンバ』。見た目にも分かりやすく、驚きのある『ボンバ』の発売で男性需要を喚起します。



## 食品

食品部門

### 食べやすい、ひとロサイズのおこげが入ったカップ入りスープ。

【中華おこげのスープ】〈五目あんかけ醤油味〉  
〈ごま担々味〉〈海鮮風五目塩味〉

『中華おこげのスープ』は、人気の食材「おこげ」を手軽に楽しめるカップ入りスープです。おこげを食べやすいひとロサイズにして、とろみのある中華風スープと組み合わせました。個食化、簡便化を求めるお客様のニーズに応え、市場の活性化を図ります。



## 牛乳・乳製品

グリコ乳業株式会社

### 大きめで粒ぞろいの果肉がたっぷり!

【幸せのたっぷりヨーグルト】  
〈アロエ〉〈林檎〉〈フルーツミックス〉

粒ぞろいのフルーツ果肉がたっぷり入った、ちょっと贅沢なヨーグルトです。お子さまから大人まで、お好みに合わせてお取り分けできる400g大容量タイプなので、ご家族で分け合う楽しみが広がります。今秋より〈フルーツミックス〉ヨーグルトを新発売しました。ぜひお試しください。



## 牛乳・乳製品

グリコ乳業株式会社

### ストローで吸って食べる、 す 吸イーツ!

#### [ドロリッチ! クラッシュゼリースイーツ]

ストローで吸って食べる、まったく新しい「飲むカフェゼリー」です。クラッシュしたカフェゼリーとクリームが、カップの中で完全に混ざっていないので、今までにない喉越しの食感が楽しめます。今秋には販売エリアを全国に拡大しました。ぜひお試しください。



## 畜産加工品等

グリコ栄養食品株式会社

### 熱々ご飯に混ぜるだけ! お茶碗2膳分の混ぜご飯の素

#### [混ぜどきシリーズ] 〈鶏五目めし〉〈ほたてめし〉 〈ちりめん山椒めし〉

増え続けるシニア世代・少人数(1~2人)世帯をターゲットに、日本人の主食であるご飯を「おいしく」「簡単に」食べられる商品として開発しました。炊き立てや温め直した冷ご飯に混ぜるだけでお茶碗2膳分の味付きご飯がすぐできます。国産鶏肉・北海道産ほたて・瀬戸内産ちりめんを使用するなど、素材にもこだわりました。



## 「ポスカ フラットスタイル」を北海道洞爺湖サミットで展示



江崎グリコは、2008年7月7日から9日に開催された北海道洞爺湖サミットで新製品のガム「ポスカ フラットスタイル」を展示、提供しました。日本政府の提供製品として十分な機能と品質を備えていることに加え、北海道産の馬鈴薯に含まれる成分を有効活用し、環境に配慮したことなどが評価され、この機会を得ました。サミット期間中、会場である国際メディアセンターに展示され、世界30数カ国、5,000名におよぶ報道関係者に利用されました。



### 特許成分「Pos-Ca」を配合した新しいスタイルのガム

「ポスカ フラットスタイル」には、江崎グリコが世界で初めて開発に成功した成分「Pos-Ca（ポスカ）」が配合されています。「Pos-Ca」は、北海道産の馬鈴薯澱粉から調整された高水溶性のカルシウム素材です。馬鈴薯澱粉から液糖を作る際に発生し、従来は廃棄されていた成分を有効活用しています。その意味で「Pos-Ca」は「環境にやさしい成分」といえます。

「ポスカ フラットスタイル」は、携帯性にとことんこだわった、新しい「歯のためのガム」として、8月19日より全国発売されています。

## ホームページやイベントで食育の取り組みを推進

「おいしさと健康」の企業理念のもと、江崎グリコは「食育」に取り組んでいます。ホームページの新設や、各地でのイベント開催を通して、食育を応援する活動を推進しました。

### 「食育」ホームページを拡充 「クルックとポック ぼくらの食育ルーム」新設

ホームページ上の食育コンテンツを拡充し、新たに「クルックとポック ぼくらの食育ルーム」を開設しました。1歳から3歳児を持つ20代、30代の母親・父親各500名へのアンケートをもとに、父母の食事、食育の悩みやニーズに応えるページを設けたほか、子どもの素朴な疑問に答えるページを作成するなど、「親が共感できる」、「子ども

だけでも楽しめる」、「親子で読める」コンテンツを用意しました。



<http://www.glico.co.jp/shokuiku2/>



### 「ボスカム」を使って幼稚園で歯の健康教室を開催

当社製品「ボスカム」を用いた食育・歯育活動の一環として、2008年6月2日、大阪府下の幼稚園で歯の健康教室を開催しました。当日は幼稚園児とその保護者を対象に、「ボスカム」を使って食育や歯育の大切さを伝えるほか、歯科衛生士を迎えて歯の基礎知識

やブラッシング方法を紹介しました。3年前から食後にボスカムを噛む習慣を取り入れておられるこの幼稚園では、翌春の歯科検診で虫歯をもつ園児が減少したとの成果をご報告いただきました。

### 農林水産省「消費者の部屋」でカレーのPRイベントを開催

2008年8月4日から8日、東京都霞が関の農林水産省北別館の展示スペース「消費者の部屋」で、「カレーのヒ・ミ・ツ ～カレーで健康な体作りを!～」(全日本カレー工業協同組合主催)と題したイベントが行われました。江崎グリコ

も組合メーカーと共に参画しました。イベント期間中、「2段熟カレー」、「LEE」など当社のカレー製品を展示し、一般の方々にカレーの魅力やおいしさを知っていただきました。



### 「夏休み親子カレー教室」を開催

2008年8月25日、大阪府難波のベターホーム教室で、「夏休み親子カレー教室」(共催 株式会社万代様)を開催しました。当日は15組30名の親子ペアにカレー作りを体験していただきました。「おいしく夏野菜を食べよう!」を

テーマに、当社製品「2段熟カレー」を使ったキーマカレーやグリコ乳業の「野菜&くだものジュース」を使ったゼリーを親子で楽しく作り、食べていただきました。

## 会社の概要

商号 江崎グリコ株式会社  
創立年月日 大正11年2月11日  
資本金 7,773,681,654円  
営業品目 菓子・食料品の製造および売買。飲食店の経営。  
従業員数 1,126名  
本社所在地 〒555-8502  
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号

### 主な事業所

- 本社  
〒555-8502  
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号  
電話(06)6477-8352
- 北海道統括支店  
〒003-0807  
札幌市白石区菊水7条二丁目7番1号  
電話(011)812-6311
- 東北統括支店  
〒981-0912  
仙台市青葉区堤町一丁目1番2号  
電話(022)717-2821
- 首都圏統括支店  
〒108-0023  
東京都港区芝浦四丁目16番23号  
電話(03)3798-0717
- 中部統括支店  
〒461-0022  
名古屋市東区東大曽根町22番28号  
電話(052)919-0714
- 近畿統括支店  
〒555-8502  
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号  
電話(06)6477-8470
- 中・四国統括支店  
〒733-0003  
広島市西区三篠町三丁目6番28号  
電話(082)230-4111
- 九州統括支店  
〒812-0013  
福岡市博多区博多駅東三丁目13番28号  
電話(092)474-0331

### 主な関係会社

北海道グリコ株式会社  
仙台グリコ株式会社  
茨城グリコ株式会社  
グリコ千葉アイスクリーム株式会社  
東京グリコ株式会社  
武生グリコ株式会社  
三重グリコ株式会社  
関西グリコ株式会社  
神戸グリコ株式会社  
グリコ兵庫アイスクリーム株式会社  
鳥取グリコ株式会社  
九州グリコ株式会社  
江栄情報システム株式会社  
株式会社グリコ物流サービス  
東北フローズン株式会社  
関西フローズン株式会社  
THAI GLICO CO., LTD.  
EZAKI GLICO USA CORP.  
上海江崎格力高食品有限公司  
上海江崎格力高南奉食品有限公司  
グリコ乳業株式会社  
グリコ栄養食品株式会社  
アイクレオ株式会社

## 役員

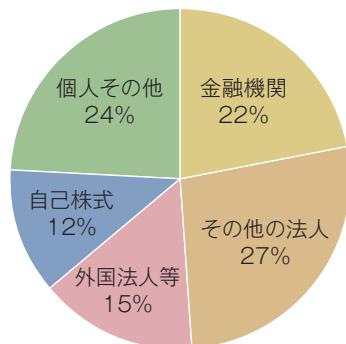
代表取締役社長	江崎 勝久	取締役	益田 哲生	監査役	玉井 英二
取締役	原 光伴	取締役	玄 洋二郎	監査役	倉持 治夫
取締役	吉田 安矩	取締役	江崎 正道	監査役	柘田 圭兒
取締役	中川 宗和	取締役	安積 正裕		
取締役	栗木 隆	監査役(常勤)	穴穂 忠男		
取締役	江崎 悦朗	監査役(常勤)	芝池 正明		

(注)監査役のうち、玉井英二、倉持治夫及び柘田圭兒の3氏は、社外監査役であります。

## 株式の状況

会社が発行する株式の総数	470,000,000株
発行済株式総数	144,860,138株
株主数	15,867名

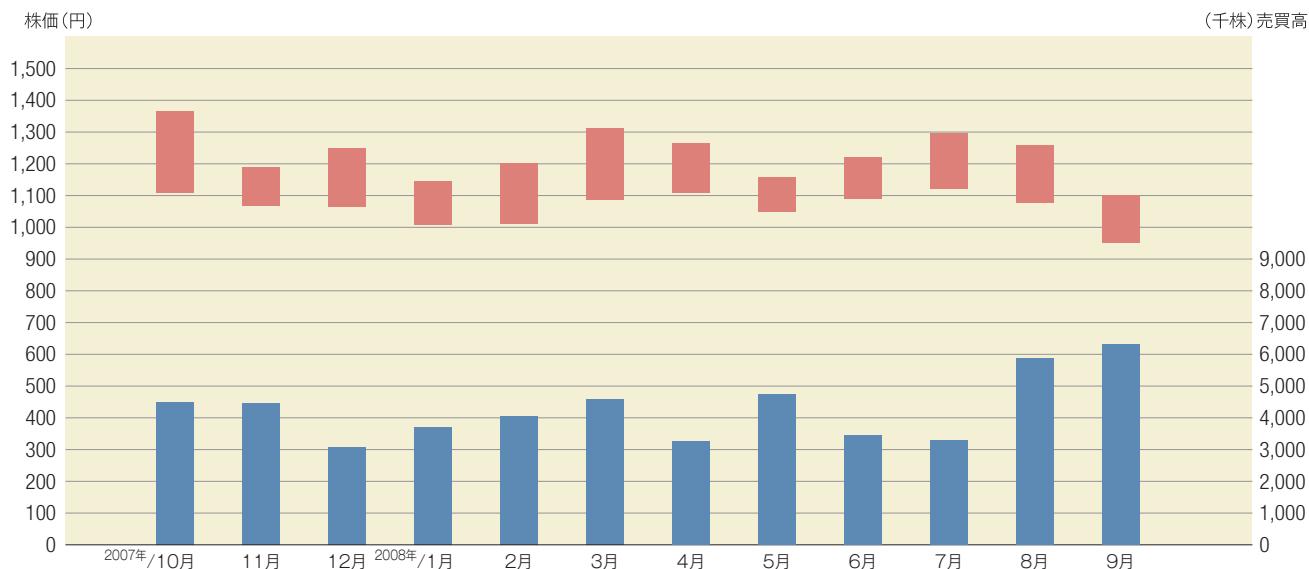
### 所有者別株式数比率



### 大株主

氏名又は名称	持株数(千株)
スティー爾 パートナース ジャパン ストラテジック ファンド(オフショア),エル.ピー.	17,403
掬泉商事株式会社	8,263
江崎正道	7,240
大同生命保険株式会社	7,000
日清食品株式会社	7,000
佐賀県農業協同組合	5,887
大日本印刷株式会社	3,197
日本生命保険相互会社	2,342
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	2,277
三井住友海上火災保険株式会社	2,112

### 株価および株式売買高の推移



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社証券代行部

### 郵便の場合

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

### 電話照会先

住所変更等用紙のご請求…………… ☎0120-175-417  
買増請求、その他のご照会…………… ☎0120-176-417

### インターネット ホームページURL

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同 取 次 所 住友信託銀行株式会社全国各支店

公 告 の 方 法 当社のホームページに掲載する。  
(<http://www.glico.co.jp>)

上場証券取引所 東京証券取引所、大阪証券取引所

## 株主様 ご優待

1,000株以上ご所有の株主様に、つぎの要領で、当社製品の詰め合わせを贈呈させていただいております。

- 贈呈時期 6月末頃と12月中旬頃にお送りいたします。
- 贈呈基準 3月31日現在および9月30日現在の株主様へ

1,000~  
1,999株



市価 約800円相当額製品

2,000~  
9,999株



市価 約1,600円相当額製品

10,000株  
以上



市価 約3,000円相当額製品

※写真は、詰め合わせ商品例

# 株券電子化前後の各種お手続きについて

2009年1月5日に株券電子化となります。その後の名義や住所の変更などのお届出やご照会、また株券電子化前後の単元未満株式の買取・買増のご請求については、いくつかご注意が必要です。

## 1 株券電子化後の株式に関するお届出先およびご照会先について

2009年1月5日の株券電子化後、ご住所変更などのお届出およびご照会は、株主様の口座のある証券会社宛てにお願いいたします。

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である住友信託銀行株式会社に口座(「特別口座」といいます)を開設いたします。

### お届け先・ご照会先

「ほふり」をご利用の  
株主様

「ほふり」を  
ご利用でない  
(特別口座)の株主様

株主様の口座のある  
証券会社

住友信託銀行株式会社  
の特別口座

※「ほふり」：株式会社証券保管振替機構

## 2 株券電子化前後の単元未満株式の買取・買増請求のお取扱いについて

### 買取のご請求

特別口座の株主様につきましては

株券電子化の施行日(2009年1月5日)から  
**2009年1月25日**まで、受付を停止いたします。

2008年12月25日から30日までにご請求いただいた場合、  
代金のお支払は2009年1月26日以降となります。

### 買増のご請求

**2008年12月12日**から**2009年1月4日**まで、  
受付を停止いたします。

また特別口座の株主様につきましては、さらに  
株券電子化の施行日(2009年1月5日)から  
**2009年1月25日**までの期間も、  
受付を停止いたします。

- 株式電子化後、「特別口座」では、単元株の売却はできません。売却するには、証券会社に口座を開設し、株式の振替手続きを行う必要があります。



**江崎グリコ株式会社**

<http://www.glico.co.jp>